

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】令和 1 年 11 月 21 日 (2019.11.21)

【公開番号】特開 2018-118887 (P2018-118887A)

【公開日】平成 30 年 8 月 2 日 (2018.8.2)

【年通号数】公開・登録公報 2018-029

【出願番号】特願 2017-12788 (P2017-12788)

【国際特許分類】

C 0 3 B 8/04 (2006.01)

G 0 2 B 1/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 3 B 8/04 A

G 0 2 B 1/00

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 9 日 (2019.10.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 1 】

本発明は、上記した従来技術の問題点に鑑みなされたもので、VAD 法において大重量にも耐えうる機械的強度を容易に且つ安価に確保できる種棒、及び該種棒を用いた多孔質石英ガラス母材の製造方法及び石英ガラスインゴットの製造方法を提供することを目的とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 4 】

図 2 (a) に示した如く、粗面化処理された表面 1 0 に加熱 2 0 を行った場合、尖った先端部は単位体積あたりの比表面積が大きく、温度が高くなりやすく極局所的に高温になる。一方、平滑な表面 1 0 0 の場合は、熱が分散する為、極局所的な高温部位は発生しない [図 2 (b)]。